

政策分析シート（令和元年度）

政策名	良好で快適な生活環境の形成	政策No	08	部名	防災都市づくり部
関連部名	環境清掃部	部長名	松土	内線	2800
行政評価事業体系	分野 IV	環境先進都市			

目的 住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。

指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		28年度	29年度	30年度	
①	生活環境の充実	3.22	3.19	3.23	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
②	まちなみの良さ	2.95	2.95	2.98	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
③	周辺環境の快適さ	3.03	3.02	3.06	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
④					
⑤					
⑥					
⑦					

指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
①	公園・児童遊園面積 (ha)	43.4	43.3	43.3	43.1	48.0	
②	住みよいと感じる人の割合 (%)	91	91	91	92	95	区政世論調査
③	細街路後退用地整備率 (%)	41	43	45	51	51	整備延長／整備対象道路延長両側（自主整備含む）
④							
⑤							
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	29年度	30年度	差額	行政収入	勘定科目	29年度	30年度	差額
	行政費用	給与関係費	440,202	414,427		▲25,775	地方税等	0	0
	物件費	974,698	736,261	▲238,437	国庫支出金	23,096	27,074	3,978	
	維持補修費	451,615	404,226	▲47,389	都支支出金	22,367	43,196	20,829	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	88,825	77,041	▲11,784	使用料及び手数料	859,929	829,946	▲29,983	
	減価償却費	341,420	344,266	2,846	その他行政収入	121,679	106,765	▲14,914	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,027,071	1,006,981	▲20,090	
	賞与・退職給与引当金繰入額	75,079	28,077	▲47,002	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,638,472	▲1,346,219	292,253	
	その他行政費用	293,704	348,902	55,198	金融収支差額(d)	▲3,894	▲2,673	1,221	
	行政費用合計(b)	2,665,543	2,353,200	▲312,343	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,642,366	▲1,348,892	293,474	
	特別費用(g)	806,317	2,640	▲803,677	特別収入(f)	792,418	0	▲792,418	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲13,899	▲2,640	11,259	当期収支差額(e)+(h)	▲1,656,265	▲1,351,532	304,733	

貸借対照表	勘定科目	29年度	30年度	差額	流動負債	勘定科目	29年度	30年度	差額
	流動資産	収入未済	37,510	23,812		▲13,698	還付未済金	66,440	45,357
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	44,531	24,183	▲20,348	
固定資産	有形固定資産	222,050,841	223,034,237	983,396	その他の流動負債	21,909	21,174	▲735	
	土地	204,896,134	205,887,832	991,698	固定負債	0	0	0	
	建物	6,777,353	6,796,302	18,949	特別区債	514,556	425,179	▲89,377	
	建物減価償却累計額	▲3,125,651	▲3,282,904	▲157,253	退職給与引当金	167,094	142,911	▲24,183	
	工作物等	18,814,571	19,131,413	316,842	その他の固定負債	347,462	282,268	▲65,194	
	工作物等減価償却累計額	▲5,311,566	▲5,498,406	▲186,840	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	580,996	470,536	▲110,460		
建設仮勘定	49,007	302,660	253,653	正味財産の部合計	221,566,752	222,900,390	1,333,638		
その他の固定資産	10,390	10,217	▲173	正味財産の部合計	221,566,752	222,900,390	1,333,638		
資産の部合計	222,147,748	223,370,926	1,223,178	負債及び正味財産の部合計	222,147,748	223,370,926	1,223,178		

財務諸表に関する特微的事項等

○約3割を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が、1割半ばを道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。

政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、平成30年度には43.3haとなった。</p> <p>○道路ストック総点検の実施や道路橋の点検等を実施した。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの植栽数の増加に取り組んでいる。</p> <p>○居住環境は過去の住商工が共存していた時代から、再開発事業の進展や民間マンションの建設等により、大きな変化の時期を迎えている。</p>
課題	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障害者・子育て世代などの居住支援要配慮者を含め、だれもが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、環境に配慮した清潔で美しい街づくりを推進していく。</p> <p>○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、身近な居住環境の整備を通じて、住みやすく快適な街を形成していく。</p> <p>○下町の風情を残した街並みを生かして、開発と調和の取れた魅力ある景観づくりを推進していく。</p>

政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	花と緑があふれる、快適で、愛着のわく街を創出していく必要がある。 また、街の防災性向上のためにも、目標とする公園等の面積確保に向けて、積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を継続する。